

## 総務グループ

### 1. 消防力の整備

#### (1) インフルエンザ対策事業

近年、発生拡大が予想される新型インフルエンザに備え、救急活動等に必要な感染防止用資器材等を整備し、救急体制の充実強化を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
インフルエンザ対策事業	2,770,900	感染防止衣(高機能型)上衣及びズボン 660式
		新型インフルエンザ対策セット 660式
		N95マスク (1箱 20枚入) 55箱
計	2,770,900	

#### (2) G20 大阪サミット関係事業

2019年G20大阪サミット開催に伴う総務省消防庁からの警戒要員の応援要請により、消防隊1隊及び予防要員1名を派遣するとともに、有事に必要な資器材を整備し、警戒対象施設への立入検査や担当エリアを巡回警戒することで、首脳会議場及び関連施設で大きな災害もなく、任務を完了しました。

事業名	事業費(円)	事業内容
G20 大阪サミット関係事業	16,200	レベルC化学防護服 5着
	151,740	防毒マスク・吸収缶 各5個
	241,920	ターケット 28個
	11,306	高速料金・燃料(軽油) 1式
	198,369	研修等・時間外勤務手当 1式
計	619,535	

#### (3) 救急高度化推進事業

救急需要の高度化に対応するため、高度救急用医薬材料の購入や活動機器の整備を行うとともに、救急隊員の資格取得や技術向上のため各種講習を受講し、救急体制の充実強化を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (消耗品の購入)	61,380	救急訓練用資器材等 1式
	91,740	除細動器用バッテリー等 3個
	191,180	呼吸管理用資器材等 1式
	90,590	救急啓発物等 1式
	148,852	その他の救急高度化消耗品 1式
計	583,742	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (印刷製本費)	49,896	「救急の日」広報用ウェットティッシュ 700個
計	49,896	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (職員研修旅費)	24,200	救急救命士集中講義等 16人
計	24,200	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (救急救命士国家試験受験手数料)	30,300	救急救命士国家試験受験手数料 1人
計	30,300	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (救急救命士免許登録手数料)	6,800	救急救命士免許登録手数料 1人
計	6,800	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (職員健康診断受診手数料)	2,160	救急救命士登録用受診手数料 1人
計	2,160	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (救急救命士登録免許税)	9,000	救急救命士登録免許税 1人
計	9,000	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (高度救急医薬材料の購入)	8,800	感染防止用マスク 1,200枚
	55,000	使い捨て除細動パッド 10枚
	58,290	血糖値測定器チップ等 1式
	278,704	呼吸・循環管理用資器材 1式
	99,000	感染防止服(上下) 50着
	92,880	ターポリン担架等 1式
	101,520	固定用資器材等 1式
136,770	その他の高度救急医薬材料 1式	
計	830,964	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (高度救急活動機器の購入)	178,524	救急車積載用スマートフォン機種変更 3台
	11,988	高度救急処置用資器材 1式
	86,400	救急現場活動用酸素ボンベ 2本
	313,200	自動体外式除細動器(AED) 1式
計	590,112	

事業名	事業費(円)	事業内容
救急高度化推進事業 (医療廃棄物処理業務委託)	31,680	特別管理産業廃棄物の収集・運搬、処理 3回
計	31,680	

事業名	実施場所(機関)	事業費(円)	派遣者数(人)
救急救命士養成課程	大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1,286,700	1
救急救命士養成課程 就業前研修	近畿大学病院救命救急センター	90,000	1
就業中再教育 病院実習	近畿大学病院救命救急センター	224,000	14
計		1,600,700	16

#### (4) 消防広域化事業

現在、堺市との消防事務の委託に関する協議に向けて事務を進めています。

それに先がけ、平成31年3月15日に堺市と「はしご付き消防自動車の運用委託に係る消防応援協定」を締結し、令和元年10月1日から本格運用を開始しました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防広域化事業	4,613,000	はしご付消防自動車の運用委託負担金 1式
	1,836,000	警防地図印刷製本 50冊
	1,680	管内旅費 1式
計	6,450,680	

#### (5) 消防団員安全装備品等整備事業

消防団の各種災害活動を実施するにあたり、安全かつ効果的に運用するため、計画的に整備・更新し、災害対応力の強化を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防団員安全装備品等 整備事業	295,920	チェーンソー 10台
計	295,920	

(6) 消防団訓練大会参加事業

消防団の資器材更新整備を行い、消防体制を強化するとともに消防操法訓練大会出場に備えました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防団訓練大会参加事業	1,889,800	小型動力ポンプ 1台
計	1,889,800	

(7) 消防庁舎管理事業

消防庁舎の施設の老朽化に伴い、各施設の改修を行い、安全衛生管理体制の充実を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防庁舎管理事業	112,320	庁舎中央階段室改修工事 1式
計	112,320	

(8) ニュータウン出張所管理事業

ニュータウン出張所の施設の老朽化に伴い、各施設の改修を行い、安全衛生管理体制の充実を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
ニュータウン出張所管理事業	813,240	空調機設置工事 1式
	1,414,800	屋根防水改修工事 1式
	108,000	シャッター部品取替工事 1式
計	2,336,040	

(9) 石油貯蔵施設立地対策事業

堺泉北臨海工業地帯石油貯蔵施設災害の応援を補うとともに、本市各種災害活動を実施するため、災害現場において消防隊員が着用する防火衣の更新整備を行い消防体制の充実を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
石油貯蔵施設立地対策事業	1,641,200	防火衣(上衣・ズボン・しころ・保安帽・防火靴 安全帯) 一式 計10式
	2,163,150	空気呼吸器(自動陽圧型呼吸器・面体・空気ボンベ) 計5式
	282,700	ガス検知器(コスモス社製XP-302M-A-4) 1台
計	4,087,050	

(10) 消防用活動機器整備事業

各種災害に対応するにあたり、災害現場で活用する各種消防資器材を効果的かつ安全に運用するため計画的に資器材を整備し、各種災害事案への対応力を高めました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防用活動機器整備事業	2,346,408	レインウェア 51式
計	2,346,408	

(11) 消防車両等整備事業

消防車両や救急車両は、多種多様な災害現場において安全で迅速な消防活動を展開させるため、年次計画に基づき更新整備し、消防力の保持増強を図っており、今年度においては、消防団の小型動力ポンプ付積載車1台(岩室分団)の整備を行い、消防車両の機能維持に努めました。

事業名	事業費(円)	事業内容
消防車両等整備事業	5,600,100	消防団 小型動力ポンプ付積載車 (岩室分団) 1台
計	5,600,100	

(12) 災害・訓練時安全管理事業

各種災害現場や訓練時に活動する隊員の安全対策や事故防止のため、装備の充実や訓練施設の改修などを行いました。

事業名	事業費(円)	事業内容
災害・訓練時安全管理対策事業	475,200	安全マット 1式
	652,536	ゴーグル・ヘッドライト 各38個
	51,425	検索救助用ロープキット 1式
	292,680	補助訓練塔改修工事 1式
	87,912	可倒式ポール 1式
計	1,559,753	

(13) 緊急消防援助隊整備事業

大規模災害発生時に出場要請される緊急消防援助隊の活動に際し、隊員の安全管理及び円滑な活動を実施するために必要な資器材を整備し、出場体制の強化を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
緊急消防援助隊整備事業	353,160	緊急消防援助隊資器材 1式
計	353,160	

# 予防グループ

## 1. 火災予防運動広報の実施

春・秋の全国火災予防運動期間中、ポスターや横断幕等の広報資材を掲出・配布するほか、秋に市民を対象に大型スーパーマーケット前で「街頭防火キャンペーン」を実施しました。

春には山火事防止を重点とし、市道天野福田線（陶器山ハイキングコース）の山火事防止徒歩巡回を実施しました。

### (1)火災予防運動の実施状況

区 分	聴覚宣伝実施状況		広 報 資 材
	巡行宣伝	従事人員	
春・秋の全国火災予防運動 共通広報資材			市独自の防火ポスター 1,000枚 消防庁防火ポスター 200枚 桃太郎旗 10本 蛍光アピールシート 12枚 横断幕 4枚 横のぼり幕 20枚 小吊旗 280枚
秋の全国火災予防運動	20回	67人	防火図画最優秀賞盾 1個 防火図画最優秀賞記念品 1式
春の全国火災予防運動	6回	20人	陶器山ハイキングコース 木柱 13本 山火事防止看板 4枚 大阪府配布山火事防止看板 21枚

### (2)防火図画・ポスター応募数

(単位：点)

区分 年度	応募 学校 数	応募 数	最 優 秀 賞	優 秀 賞	努 力 賞	大 阪 府 へ の 出 品 ・ 受 賞 状 況						
						出 品 数	知 事 賞		消 防 協 会 会 長 賞		防 火 委 員 会 会 長 賞	
							入 賞	入 選	入 賞	入 選	入 賞	入 選
30	10校	1,562	1	50	95	10	0	0	0	2	0	1
元	10校	2,158	1	50	90	10	0	1	0	0	0	1

2. 危険物災害防止広報

危険物の保安に関する意識の高揚と事故防止を図るため、危険物安全月間（6月中）、危険物安全週間（6月2日～8日）に危険物を取り扱っている事業所を対象に立ち入り検査を実施し、危険物災害防止ポスター・危険物事事故例冊子等を配布するとともに、危険物取扱者免状取得者に保安講習の受講を積極的に促進しました。

3. 危険物製造所等許可・承認及び手数料納入状況

製造所等の別		貯 蔵 所				取 扱 所				合 計
申請区分	施設数	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	一 般	
				9	5	5	10	6	2	7
計	(件)		1						23	24
	(円)		5,000						303,300	308,300
変更許可申請	(件)								7	7
	(円)								169,000	169,000
変更完成検査	(件)		1						7	8
	(円)		5,000						84,500	89,500
完成検査前検査	(件)								2	2
	(円)								12,000	12,000
仮使用承認申請	(件)								7	7
	(円)								37,800	37,800

仮貯蔵・仮取扱承認申請	0 件	0 円
-------------	-----	-----

4. 「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」及び「液化石油ガス保安の確保及び取引の適正化に関する法律（液石法）」に係る手数料納入状況

液石法	保安機関認定更新	1 件	48,500 円
-----	----------	-----	----------

5. 大阪狭山市女性防火クラブ

補助金 180,000 円                      クラブ員数 59 人

火災予防の普及と防火思想の高揚を図り、地域の防火協力体制を整え、火災のない明るい安全なまちづくりと家庭を築くことを目的に、防火講演会の開催、住宅用火災警報器の普及啓発活動等各種事業を実施しました。

## 救急グループ

### 1. 救急高度化推進事業

大切な生命を守るため救急高度化推進事業として、市民の方々にAEDの正しい使用方法を含めた上級救命講習及び普通救命講習等を開催し、救急車に乗務する運用救命士を救急救命センターに再教育のため派遣するとともに、認定資格の新規取得や資格取得の維持に努め、救命率の向上を図りました。

令和2年3月31日現在の講習状況

講習名	上級救命講習	普通救命講習	水難・一般救急講習
受講者数（名）	42	792 うち入門コース 167	464

令和2年3月31日現在の救急救命士状況

救急救命士総数	気管挿管有資格者数	薬剤投与有資格者数
20	19	20
ビデオ喉頭鏡有資格者数	拡大処置2行為有資格者数	
4	16	

令和元年度中 救急救命士就業中再教育状況

教育内容	実施場所	受講者数
病院実習	近畿大学病院救急救命センター	14

## 警防グループ

### 1. 高機能消防指令センター総合整備事業

高機能消防指令センター運用から 11 年以上が経過し、各設備における耐用年数の経過に伴う改修工事を計画的に実施し、高機能消防指令センターの機能維持を図りました。

#### ・119 番通報受信件数

平成 31 年 1 月～12 月の 119 番通報受信件数は、4,579 件で、火災 19 件、救急 2,257 件、救助 20 件、その他（火災・救急・救助を除く件数）2,283 件の通報がありました。

指令台（固定・携帯・IP の合計） ※平成 31 年 1 月～12 月 （単位：件）

火 災	救 急	救 助	消防活動	病院照会	問合わせ	
19	2,257	20	21	351	740	
回線試験	通報訓練	いたずら	間違い	転 送	その他	合 計
111	195	70	199	232	364	4,579

固定電話 ※平成 31 年 1 月～12 月 （単位：件）

火 災	救 急	救 助	消防活動	病院照会	問合わせ	
4	407	0	4	29	63	
回線試験	通報訓練	いたずら	間違い	転 送	その他	合 計
73	93	12	50	3	88	826

携帯電話 ※平成 31 年 1 月～12 月 （単位：件）

火 災	救 急	救 助	消防活動	病院照会	問合わせ	
12	1,088	16	11	221	519	
回線試験	通報訓練	いたずら	間違い	転 送	その他	合 計
30	9	58	133	226	242	2,565

IP 電話 ※平成 31 年 1 月～12 月 （単位：件）

火 災	救 急	救 助	消防活動	病院照会	問合わせ	
3	762	4	6	101	158	
回線試験	通報訓練	いたずら	間違い	転 送	その他	合 計
8	93	0	16	3	34	1,188

## 2. 消防車両等配置状況

消防車両をはじめ各主力機械等について、保守点検や整備を行い、有事に支障のないよう努めました。

(単位：台)

種 別	配 置 場 所				備 考
	消 防 署	出 張 所	消 防 団	計	
スモールタンク車	3	1		4	消防署は600ℓ型2台、900ℓ型1台 出張所は600ℓ型1台 ホースカー付
ポンプ車			2	2	
ハシゴ車		1		1	15m級
救助工作車	1			1	小型クレーン・照明装置付
救急車	2	1		3	消防署1台は非常用
消防用車両	3		8	11	指令車・広報車・搬送車
小型動力ポンプ			9	9	
計	9	3	19	31	

## 3. 消防水利状況

9、10月の消火栓愛護運動中、12月の歳末火災特別警戒中、集中的に消防水利の特別点検整備を実施するとともに、日頃から消火栓等の管理を行い、火災発生時有効に活用できるよう努めました。

### (1) 消防水利種別表

(単位：箇所)

種 別	公 私 別		計	平成31年度 増減数	
	公 設	私 設			
消 火 栓	1,032	34	1,066	2	
防 火 水 槽	40 m <sup>3</sup> 以上	57	70	127	0
	40 m <sup>3</sup> 未満		1	1	0
プ ー ル	11	4	15	0	
池		27	27	0	
計	1,100	136	1,236	2	

### (2) 消火栓整備状況

(単位：基)

区 分	新 設	本体据替	修 理	廃 止	計
整 備 数	4	4	0	0	8

#### 4. 自衛消防訓練指導

消防法第8条により、防火管理者を置く工場・学校・病院・マーケット等に対して、自衛消防力を強化するため消防訓練指導を行いました。

各事業所において、通報・消火・避難の訓練を通じて消防用設備の使用方法に精通し、さらに維持管理の必要性について認識を深めました。また、小中学校等の訓練では、児童・生徒の火災、地震時における避難方法の習熟に努めました。

##### (1) 自衛消防訓練指導実施状況

防火対象物（事業所）			訓練指導	
施設数（施設）	実施数（回）	参加人員（人）	出場人員（人）	出場車両（台）
349	142	13,206	513	154

##### (2) 訓練内容別指導状況

（単位：回）

訓練区分	総合訓練	部分訓練			計	
		通報	消火	避難		
訓練指導数	128	14	8	4	10	142

※総合訓練とは、火災発生から消火・通報・避難の要素を取り入れた一連の流れで行う訓練の事です。

※部分訓練中、2つの訓練を実施した場合は個別に計上しています。

##### (3) 自主訓練実施報告書受理件数 183件

#### 5. 水難救助活動状況

狭山池のダム化に伴い予想される水難事故に対応するため、潜水資器材を活用した、救助訓練・研修等を実施しました。

訓練・研修等	回数・日数	出場者(人)	実施内容
隊員の健康診断	2回	18	高気圧作業安全衛生規則に基づく
潜水スクールでの訓練	4回	12	潜水訓練（マリン）
潜水士養成研修	5日	1	府立消防学校による新規養成研修
災害出場	0回	0	